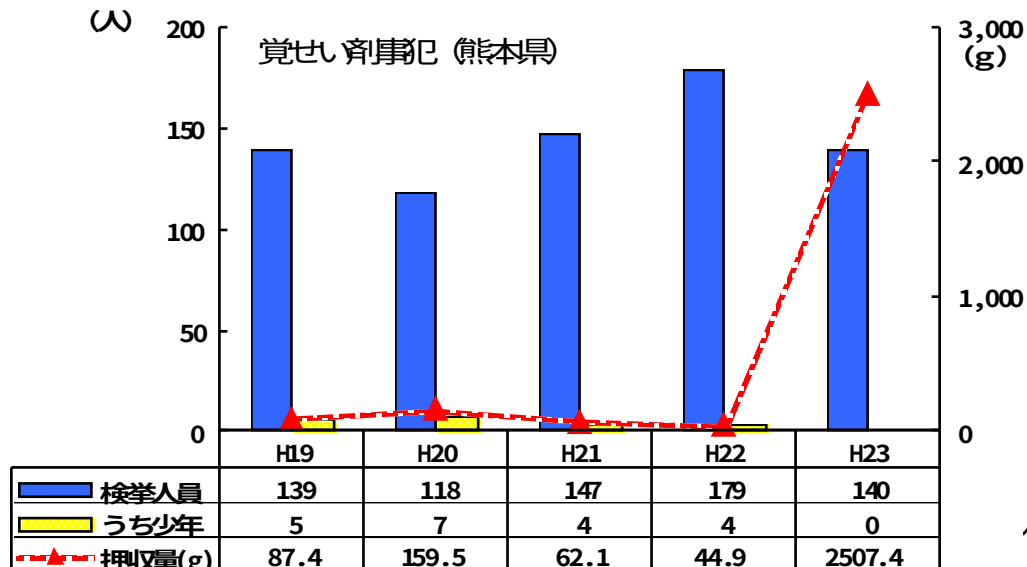


熊本県における薬物乱用対策について



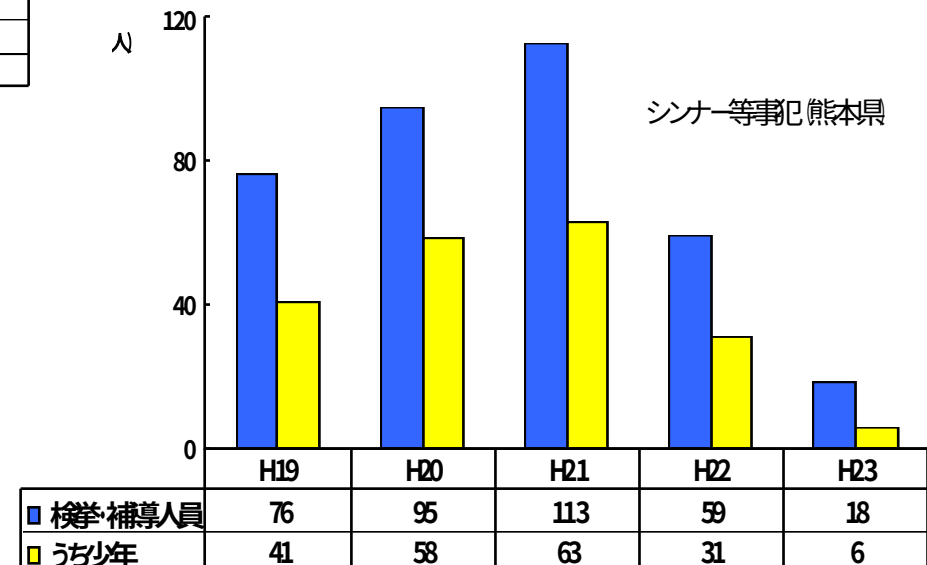
熊本県健康福祉部健康局薬務衛生課

熊本県における薬物事犯の検挙者数



覚せい剤事犯 (H19 - H23)

シンナー等事犯 (H19 - H23)



熊本県の薬物乱用防止対策体系図

薬物乱用対策推進会議（国）

内閣府、警察庁、
厚生労働省、文部科学省、他各省庁

熊本県薬物乱用対策 推進本部

構成機関：

九州厚生局、熊本地方検察庁、
長崎税関八代税関支署、県教育委員会、
県健康福祉部、県警察本部、県医師会、
県薬剤師会等

熊本県薬物乱用対策 推進本部幹事会

構成機関：

九州厚生局麻薬取締部
県薬務衛生課、障がい者支援課、
精神保健福祉センター、県体育保健課、
県警少年課、組織犯罪対策課等

「ダメ。ゼッタイ。」 普及運動熊本県実行委員会

- ・ライオンズクラブ、保健所長会等の
代表者9名で構成
- ・626ヤング街頭キャンペーン等の実施
- ・国連支援募金の協力
- ・啓発資材作成、配布

支援・連携

熊本県薬物乱用防止 指導員連合協議会

- ・県内11カ所の地区協議会との連絡調整

各地区薬物乱用防止指導員協議会

- ・県内400名の指導員
- ・構成機関：保護司会、薬剤師会、
ライオンズクラブ、社会教育委員等

支援
・
連携

熊本県薬物乱用対策実施計画①

積極的な啓発活動の推進

- 中高生からの薬物乱用防止ポスターの募集
- 小中高校での薬物乱用防止教室の実施
(平成22年度以降 実施率100%)
- 世界ライオンズデーにあわせた啓発キャンペーン
- カラオケボックス等での啓発資材配布
- 家庭教育における啓発活動

PR

子どもたちが危ない！ vol.1

ダメ。ゼッタイ。薬物乱用

県教育委員会 健康推進課 健康衛生課 監修 岡山県 岡山 千恵さん

県本の検挙数 全国2番目の多さ

「ダメ。ゼッタイ。」というメッセージを、子どもたちに届けるために、県教育委員会では、県本「ダメ。ゼッタイ。」を作成しました。この県本は、県内各中学校に配布され、子どもたちに読んでもらうことで、薬物乱用の危険性を知らせ、正しい行動を促すことを目的としています。

「ダメ。ゼッタイ。」というメッセージを、子どもたちに届けるために、県教育委員会では、県本「ダメ。ゼッタイ。」を作成しました。この県本は、県内各中学校に配布され、子どもたちに読んでもらうことで、薬物乱用の危険性を知らせ、正しい行動を促すことを目的としています。

お問い合わせ先は…熊本県薬務衛生課 ☎096-333-2242

PR

子どもたちが危ない！ vol.2

ダメ。ゼッタイ。薬物乱用

熊本県教育委員会 健康推進課 健康衛生課 監修 中川 英孝さん

身近な「ゲートウェイドラッグ」に注意！

「ゲートウェイドラッグ」とは、大麻などの危険な薬物、県内でも10代の若者に多く見られ、決して人ごとではありません。薬物が子どもたちを守るために、私たち大人が気を配ることを、県健康推進課 健康衛生課の中山千恵さんと聞きました。

「ゲートウェイドラッグ」とは、大麻などの危険な薬物、県内でも10代の若者に多く見られ、決して人ごとではありません。薬物が子どもたちを守るために、私たち大人が気を配ることを、県健康推進課 健康衛生課の中山千恵さんと聞きました。

お問い合わせ先は…熊本県薬務衛生課 ☎096-333-2242

PR

子どもたちが危ない！ vol.3

ダメ。ゼッタイ。薬物乱用

熊本県教育委員会 健康推進課 健康衛生課 監修 山川 勝也さん

家庭でも薬物乱用許さない環境づくりを

「ダメ。ゼッタイ。」というメッセージを、子どもたちに届けるために、県教育委員会では、県本「ダメ。ゼッタイ。」を作成しました。この県本は、県内各中学校に配布され、子どもたちに読んでもらうことで、薬物乱用の危険性を知らせ、正しい行動を促すことを目的としています。

「ダメ。ゼッタイ。」というメッセージを、子どもたちに届けるために、県教育委員会では、県本「ダメ。ゼッタイ。」を作成しました。この県本は、県内各中学校に配布され、子どもたちに読んでもらうことで、薬物乱用の危険性を知らせ、正しい行動を促すことを目的としています。

お問い合わせ先は…熊本県薬務衛生課 ☎096-333-2242

くまにちすぱいす 平成24年1～3月掲載記事

熊本県薬物乱用対策実施計画②

監視指導・取締

- 薬局、病院、診療施設の立入調査
- 向精神薬に特化した歯科診療所の立入
- シンナー等取扱施設への適正管理販売の徹底
- 麻薬・向精神薬取扱者に対する講習会の実施
(毎年5地区)
- 健康食品、個人輸入医薬品の健康被害情報周知
- 違法ドラッグ販売店の実態把握、立入調査

熊本県薬物乱用対策実施計画③

薬物再乱用防止対策

- 薬物乱用に関する相談体制の充実
(各保健所、精神保健福祉センター等)
- 保護観察所、薬物自助グループとの連絡会議実施
- 薬物再乱用対策研修会の実施
- 依存症回復支援プログラム（KUMARPP）の
事業展開および啓発、広報活動の支援

薬物再乱用対策の活動支援

KUMARPP

依存症回復支援プログラム



Kumamoto
Addiction
Relapse
Prevention
Program

KUMARPP は、薬物（覚せい剤、大麻、ガス、処方薬等）の使用をやめたくてもなかなかやめられないご本人のためのプログラムです。

やめたくてもやめられないのは、意志の問題ではありません。KUMARPP では、このやめられない状態のことや、どうしたらやめていけるかについて、グループで学んだり話し合ったりします。

どうぞ、お気軽に KUMARPP へお越しください！

- 開催日時● 第2・4火曜日 13:30~15:00
※裏面のカレンダーをご参照ください
- 開催場所● 熊本県精神保健福祉センター内
(熊本市東区月出3丁目1-120)
- お問合せ● 熊本県精神保健福祉センター
電話：096-386-1166 (受付：9時~16時)

※初めて参加される場合は、事前にお電話ください。

よろしくま！



くまもとがプライズキャラクター
くまモン

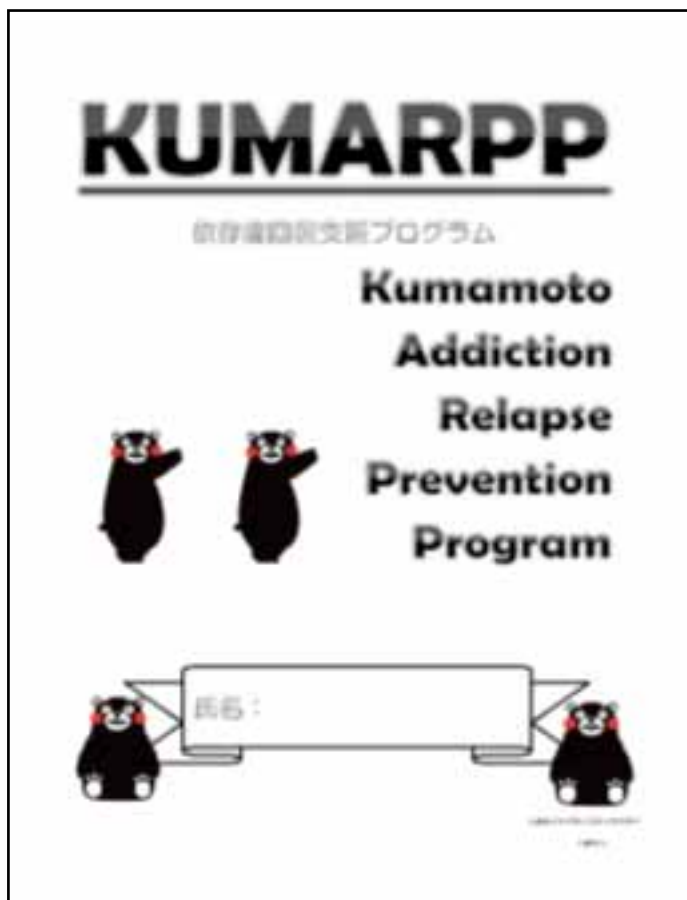
KUMARPP（クマープ）

県精神保健福祉センターが
平成23年度から試行的に実施。
平成24年度から運用開始。

KUMARPPの概要

- 国立精神神経医療研究センターの松本俊彦氏が開発した、SMARPP（スマープ）を原案に作成したテキストを使用。
- 対象は薬物（覚せい剤、大麻、ガス、処方薬等）の依存症者
- プログラムは1クール10回。
- 1回の時間は90分程度、テキストを用いたグループワークを実施。
- スタッフは保健師や心理士が担う。
- 参加するメンバーには、参加意欲を保つための工夫を行う。
（例：修了証書授与、スタンプカードの作成）

KUMARPP テキスト①



目 次	
はじめに.....	1
参加ルール.....	2
第1回 アルコールや薬物が脳に与える影響.....	3
引き金と渴望.....	7
第2回 患者停止法.....	11
外的な引き金と内的な引き金.....	14
第3回 費せし劑の身体・脳への影響.....	19
第4回 回復の地図.....	28
回復初期によく起きる問題とその解決方法.....	36
第5回 思考・感情・行動.....	40
マリファナはタバコより安全?.....	43
第6回 アルコールについて考える.....	47
第7回 依存症の特徴.....	56
第8回 再使用を防ぐためにーその1ー.....	62
再使用を防ぐためにーその2ー.....	66
第9回 再使用を防ぐためにーその3ー.....	69
第10回 強くなるより賢くなろう.....	78

よくしま!

テキスト②

1362





薬物乱用はダメだモン！

ご静聴ありがとうございました。

熊本県薬務衛生課